

明治大学・川崎市 黒川地域連携協議会

第1回 地域活性化検討専門部会

平成26年5月30日（金）9：30～11：30

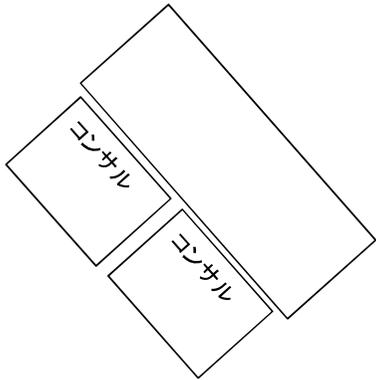
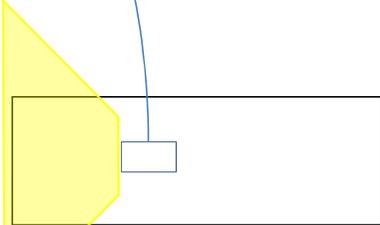
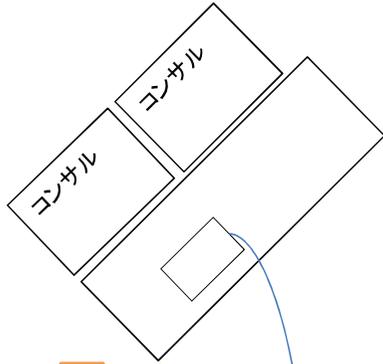
麻生区役所 4階 会議室

次 第

- 1.開会
- 2.メンバー紹介
- 3.座長選任及び座長あいさつ
- 4.地域活性化検討専門部会の方向性について（資料説明）
- 5.今年度の取組み内容等に関する検討
 - ・専門部会の方向性について
 - ・今年度及び今後の具体的取組み内容について
- 6.まとめ
- 7.閉会

以上

平成26年度 第1回 地域活性化検討専門部会



経)工業振興課 島野 洋介	経)農業振興課 係長 木田 幸生	経)農業技術 支援センター 係長 久延 一郎	経)農地課 係長 古山 和弘	環)減量推進課 主任 須賀 治	建)みどりの 協働推進課 担当係長 青柳 努
------------------	------------------------	---------------------------------	----------------------	-----------------------	---------------------------------

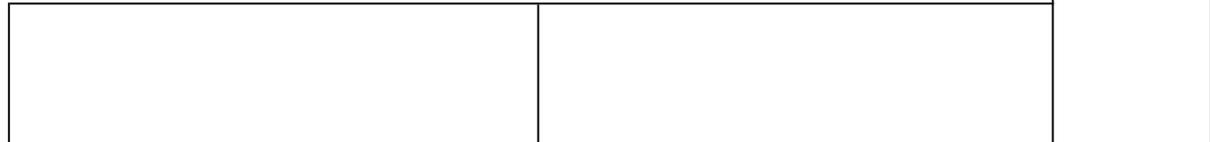


黒川観光
農業振興会
会長
坂本 正

明治大学
黒川農場
特任教授
藤原 俊六郎

セレサ川崎
農業協同組合
指導相談部長
梶 久夫

黒川町会
副会長
熊沢 明



麻)企画課 麻生 淳一	麻)企画課 担当係長 白石 尚	麻)企画課 課長補佐 蛭川 泰行	麻)企画課長 鈴木 猛	麻)道路公園 センター 担当課長 高橋 正力	麻)地域振興課 係長 藤原 亮子
----------------	-----------------------	------------------------	----------------	---------------------------------	------------------------

出入口

出入口

平成26年度
農と環境を活かした
まちづくりの推進

地域活性化検討専門部会

第1回専門部会 説明資料

平成26年 5月30日

目次

■麻生区 農と環境を活かしたまちづくり	
01. 農と環境を活かしたまちづくりの推進	4
02. 実施体制と役割分担	5
03. 各専門部会の関わりと連携効果	6
04. 実施スケジュール	7
■地域活性化検討専門部会	
01. 黒川地区等における地域活性化の資源	9
02. 市民アンケート結果まとめ	12
03. 農業従事者アンケート結果まとめ	16
04. 部会の活動に向けたニーズや課題の整理	19
05. 取組みの方針（案）	20
06. 具体化施策の展開	21
07. 今年度の試行的取組みの提案	22
08. 今年度のスケジュール	26
■資料編	27

麻生区 農と環境を活かしたまちづくり



- 3 -

1 農と環境を活かしたまちづくりの推進

黒川・岡上・早野周辺地域での課題

農が抱える課題

- 都市農地の再評価と保全策への対応
- 農家・農業後継者の減少
- 農業経営の転換への対応
- 「農」に対する全市的な合意形成

解決の方向性

- かわさき「農」の新生プランにおける推進体制の確立

緑が抱える課題

- 多摩丘陵の保全にむけ、農業政策と緑地保全施策の連携が必要となっている。
- 里地里山環境の保全と「農ある風景」の継承が求められている。

解決の方向性

- 市民協働による地域ぐるみの緑地保全活動の推進

地域が抱える課題

- 第1期区民会議の議論
区特性である「農」を通じた「地域づくり」への活かし方
- 第3期区民会議の議論
市域の緑が43%集積する区の緑の維持管理の仕方及び市民ボランティアなどの力の活用方策

解決の方向性

- 区の資源である農と緑を活かしたまちづくりの推進

地域・関係者間での課題解決への施策検討・計画及び試行実施



黒川地域での変化（地域資源の創出）

- 平成20年に大型農産物直売所「セシサモス」の開所
- 平成24年に明治大学黒川農場の開場

黒川地域連携協議会：平成21年設置（平成25年度改訂）

目的：明治大学と川崎市が「農業研究・実験機能」、「山林の保全と活用機能」及び「農業体験・交流機能」における連携を通じた地域づくりを推進することを目的とする。

組織：具体的活動を推進する「農産物等研究専門部会」「地域活性化検討専門部会」「里地里山保全活用専門部会」の3つの部会を立ち上げ、相互連携を図りながらテーマに沿った活動を推進する。

- 4 -

2

実施体制と役割分担

黒川地域連携協議会

- ◆黒川地域関係者の連携・相互協力を図り、農と環境を活かした まちづくりを推進
- ◆部会間の調整、黒川地区の農と環境を活かしたまちづくりの方針・計画等の承認
- 【構成】明治大学農学部、明治大学黒川農場、JAセレサ川崎、神奈川県農政部署、地元関係(地元町内会など)、川崎市建設緑政局、川崎市麻生区、川崎市経済労働局
- 【事務局】川崎市経済労働局農地課

農産物等研究専門部会

【目的】

将来、農畜産物、林産物及びその他の加工品の栽培や販売などにおける課題を整理し、地域の活性化につながる農産物等の調査・研究を行う。

【役割】

農産加工品の検討や開発、商品化に向けた検討推進等

【事務局】

川崎市経済労働局農地課

地域活性化検討専門部会

【目的】

農や緑、環境を通じた地域の活性化や地産地消の推進につながるイベント等の実施や必要な施設等の検討を行う。

【役割】

地域連携イベントの企画・推進、地域資源の有効活用・PR

【事務局】

川崎市麻生区企画課

里地里山保全利活用専門部会

【目的】

多摩丘陵の里地里山の地域的価値を見出し、里地里山の保全、再生、活用を目指す。

【役割】

里地里山の保全・再生・活用等の企画・実施

【事務局】

川崎市建設緑政局みどりの協働推進課

3

各専門部会の関わりと連携効果

PR・イベントを通じた農産物や加工品へのニーズ

農産物をイベントや魅力発信資源として活用

地域活性化検討専門部会

1.地域連携イベント

- 明治大学収穫祭の企画・販売
- 農業体験イベントの実施
- グリーンツーリズムとの連携
- 地産地消の推進

2.地域資源の有効活用

- 地域資源の調査・分析・活用
- 地域資源やイベント等のPR活動

自然環境をイベントや魅力発信資源として活用

PR・イベントを通じた里地里山の魅力発信

農産物等研究専門部会

1.地域農産物ブランドの研究

- 郷土作物などの発掘
- 農産加工品等の検討

2.商品化に向けた支援

- 商品化に係る課題の整理
- 試験栽培方針の検討
- 販路・販促の検討

3.新規農産物の研究

- 経済性、直売所向け農産物の栽培試験
- 普及に向けた支援

多様な主体の参加や人的交流の促進

里地里山の取組みにより農の魅力が向上

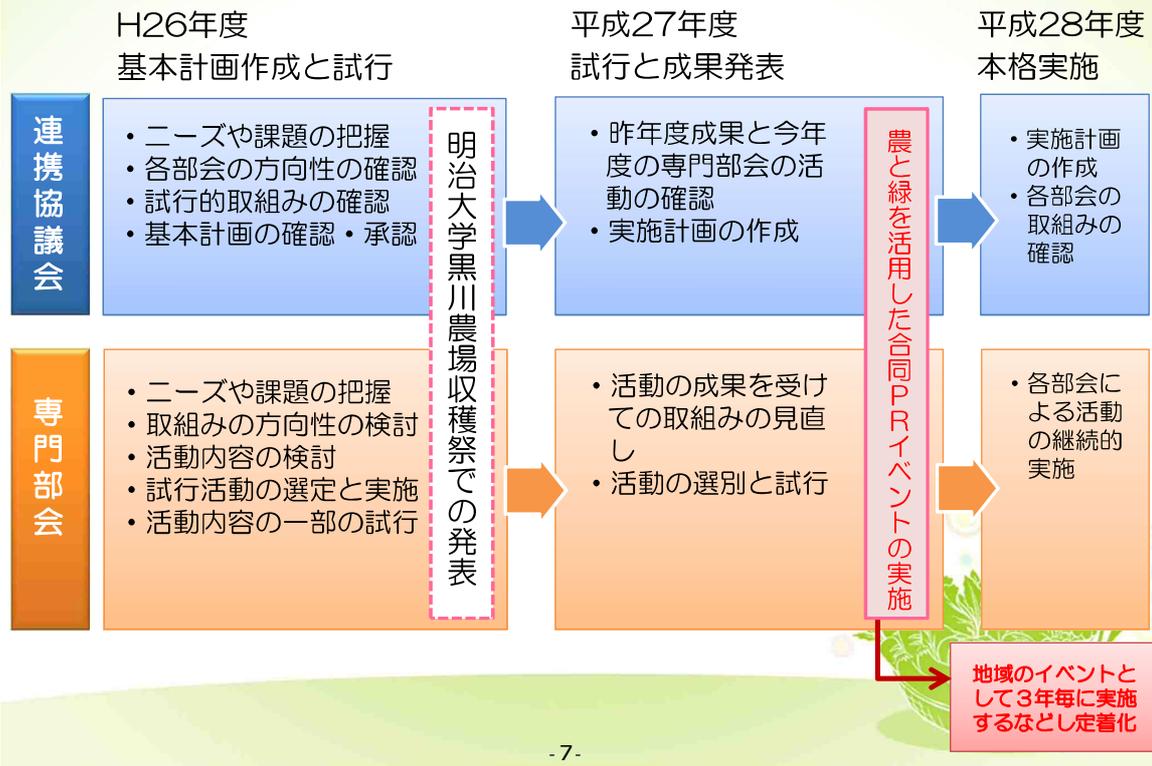
里地里山保全利活用専門部会

1.景観の保全及び利活用による地域活性化の推進

- 保全方策の検討・利活用の推進
- 生物多様性検討・推進
- 事例発表、研究発表
- グリーンツーリズムの推進

2.資源を活かした自然エネルギー循環型の地域づくり

4 実施スケジュール



- 7 -

地域活性化検討専門部会



- 8 -

1. 明治大学黒川農場

体験型実習教育並びに、研究活動に対応出来る多目的な都市農場を実現するため、「環境共生」、「自然共生」、「地域共生」の3つのコンセプトを基本にそれぞれのシステムを備えた、未来型アグリエコファームをめざし計画がされた。

主要施設：ペレット生産場、本館、展示温室、アカデミー棟、自然生態園、有機圃場、実習圃場、加工実習棟、研究豚舎、温室

2012年開設 総面積約12万8000㎡

黒川農場収穫祭 (第2回(昨年度)開催概要)

2013.11.9 (土) 12:00~16:00

- ①知る : 講演「環境に調和した農業技術の開発」/「身近なリサイクル 生ごみたい肥で作物栽培」
- ②見る : 自然生態園ガイドツアー、生産研究エリアガイドツアー、産学共同研究の紹介
- ③穫る : 畑での体験収穫(有料)
- ④食べる&買う : 農産物販売、「かわさきのハーブ」カフェとハーブ販売、禅寺丸柿の紹介と試食、ふるさとの生産技術指導士の会による、とん汁無料配布
- ⑤聴く : 昭和音楽大学学生による木管五重奏



黒川農場 本館



黒川農場 温室



収穫祭 農産物販売時の様子

2. ファーマーズマーケット・セレスモス

登録者から毎日、収穫したての農畜産物が生産者から持ち込まれ、出荷者名が記入された農畜産物が販売されている。新鮮で安全・安心な農畜産物が提供されており、平日・休日を問わず買い物客でにぎわっている。

主要施設：直売所、農業情報センター
 営業時間：4月～10月 10時～18時
 11月～3月 10時～17時
 定休日：毎週水曜日・年末年始ほか

2008年4月26日開設 敷地面積約3,000㎡ (建物面積約600㎡)

農業情報センター

農業情報の提供及び農業者と都市住民との交流の拠点。随時、農業情報発信のイベントを行っている。

開催イベント

- 一般向けワークショップ : 多摩川梨フェア、セレスモス試食会、食育ソムリエイベントなど
- 出荷向け講習会 : 果樹、花き、環境保全型農業
- グリーン・ツーリズムイベント : ジャガイモ等の収穫体験



セレスモス 正面



直売所の賑わい



農業情報センターでの催し

1

黒川地区等における地域活性化の資源

3.その他

■黒川青少年野外活動センター

様々な体験プログラムと備品の貸し出しを行っている。

主要施設：ホール、集会室、工作室、室内厨房、野外炊事場、グラウンド、シャワー室、展望台、宿泊室

開催イベント（備品レンタル含む）

○アウトドアクッキング

トラム缶ピザ、青竹ごはん、青竹パウムクーヘン、あそ棒パン、石焼きイモ、BBQインストラクター講習会

○クラフト：

箸作り、竹カップ作り、竹ぼっくり作り、大根てっぽう作り、竹馬作り、木の名札、バードコール作り、アロマコスメ作り

○ハイキング・遊びなど

くろかわ満喫コマ地図ラリー、火おこしチャレンジ、ツリークライミング、キャンプ、くろかわ森のようちえん

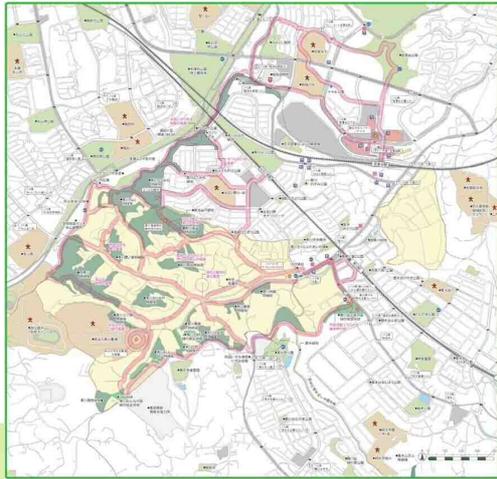
■散策路

黒川地区周辺には、多くの散策路が設定されており、散策路を使って市外から黒川地区に散策に訪れる人が多い。

散策路例：多摩よこやまの道、柿生の峰をめぐる散歩道、布田の道等の市境の散策路など



野外活動センターのイベント



散策マップ

2

市民アンケート結果 まとめ(関連事項の抽出)

■市民アンケートについて

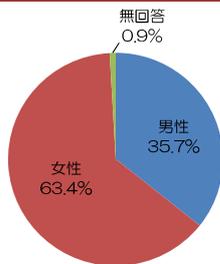
今回の専門部会開催に先駆けて、昨年の明治大学収穫祭において来場者に対し、アンケートを実施した。

実施時期：平成25年11月9日（土）

回答者数：112名（有効回答数111）

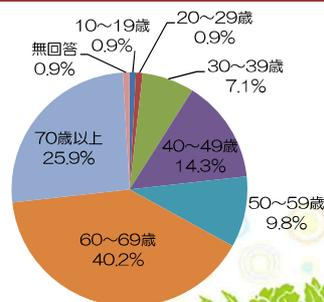
主な設問：収穫祭の評価等、セレスモスの認知度と評価等、黒川地区環境の評価等、かわさきブランドの認知度と評価等、今後の期待等

性別構成



男性40名 女性71名

年齢構成



20代以下2名、30代8名、40代16名、50代11名、60代45名、70代以上29名